

編 集 後 記

いつもたくさんの素晴らしい論文をご投稿くださり、心より感謝申し上げます。毎日、たくさんの、耳慣れない医学雑誌から、投稿を促すメールがきます。きっと（メールを開封しないで破棄するからですが）その多くはハゲタカジャーナルなどというものなのでしょう。本誌は厳格で適切な査読を行う、「いい学術雑誌」であります。もちろん、投稿した後に、あまりハッピーではない査読結果やコメントが送られてくることもあるかもしれませんが、あくまでも、投稿された論文や記載方法に対するものですので、ぜひ修正して再投稿を目指していただきたいと思います。世の中は、英文で論文を書くことを推奨し、私のような下手な者でも、校正をしっかりとってくれるサービスが充実してきたことから、英文で書く機会は増えていると思います。しかし、多くの英文雑誌は、症例報告の文字数や図表の枚数の制限が厳しいため、読んでも患者の状況は想像できず、呈示されているデータは中途半端、考察も乏しく、心に残らない論文も多いと思います。本誌は、症例報告が多い雑誌ですが、多くの情報を掲載出来ることは優れた特徴です。また、我が国の神経内科医の交流の場として、すぐれた症例報告を相互に勉強できるといった利点もあります。

そういったことから、本誌に投稿をされる方は、ぜひとも詳細な臨床経過、臨床症候、可能な限りの検査情報などを発表していただきたいと思います。私は、論文を書くといったことでは「症例報告のほうが、難しいかなあ」と思うことがあります。臨床経過を記載するにあたり、診療記録、看護記録など、すべてを最初から読んで医学的にまとめ、記載をすること、得られた所見や結果すべてに対して、考察を加えることなど、大変な努力を要します。しかし、そういったエネルギーを使うと、新たな発見だけではなく、日々の診療に生かせることが、格段に増えていくことが、私にとっては嬉しいことです。論文を掲載することだけではなく、自分自身の診療能力の向上、患者さんへのよい医療の提供のためと考え、先生方からの本誌への多数の投稿をお待ちしております。地方会で発表した症例も、必ず何か新しいことがあるはずです。発表だけに終わらせず、必ず本誌へ投稿していただけるようお願いいたします。2018年の先生方からの多くのご支援に感謝し、また、2019年が先生方にとって益々の飛躍の年となりますことを、編集委員一同、心よりお祈りしております。

(高尾昌樹)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第58巻 第12号	平成30年12月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>